渦流探傷機器及びシステム(異材判別・選別)

最適な検査手法をご提案します

●1周波異材判別から最大8周波異材判別 ●硬度、形状、材質、コーティング膜厚

ELOTEST I3

- ・シンプルな1チャンネル1周波異材選別。
- ・スルーフィードに設置したコイルもしくはセンサによる選別。
- ・超高速検査が可能。

ELOTEST IS500 19"

- ・センサまたはコイルを用いた汎用選別機。
- ・1周波から8周波を用いた選別に対応。
- ・最大8つの異なるグループを選別。

ELOTEST IS500 BoxとFastSort

- ・FastSortによる高速1周波選別と散布図
- ・複数のグループを同時に選別可能
- ・500個/分以上の選別スピード

ELOTEST IS500 Q/Boxと多周波異材選別

- ・1または2チャンネル選別
- ・多周波選別
- ・ゲートTwinSort 15
- ・最大8周波選別
- ・最大8グループ選別

渦流探傷機器及びシステム(異材判別・選別)

プローブを用いた選別

- ・ ガラス板、回転テーブル、リニア搬送システム等に置かれた部品の検査システム
- ・ 超高速検査

遠距離センサ(HDS)を用いた選別結果のチェック

ネジ、ナット、プレス部品や締め金具の全数検査要求が高まっています。ローマン製HDセンサを用いることでガラス板に置かれた部品の構造欠陥を毎分500個以上のスピードで検査することができます。このセンサは10 mmという大きな浸透深さを特長とし、ガラス板越しに異材を選別することが可能です。換言すれば、センサをガラス板の下に配置するだけで高速高感度検査が実現できます。

コイルを用いた選別

- ・ コイルを用いた超高速選別
- ・ 最大20個/秒という検査スピードが、部品のサイズと搬送スピードによっては可能。